Club Te Pense

2018年11月講義

哲学の系譜と活用

哲学の系譜

古代哲学 (ギリシア哲学)

中世哲学

近代哲学

現代哲学 (現代思想)

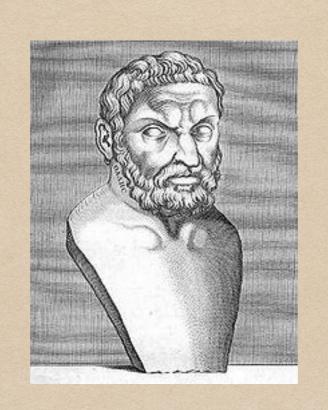
古代哲学 (ギリシア哲学)

紀元前500年前後から5世紀までの哲学

自然哲学とも呼ばれ自然の仕組みを考える学問

神話からの脱却を目指して万物の根源を探求

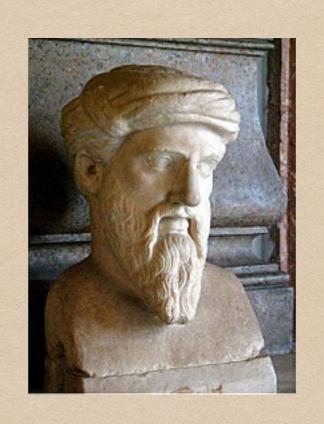
古代哲学(ギリシア哲学)の代表的人物



タレス

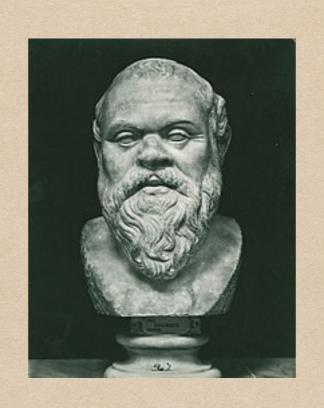
神話に対して合理的な説明を試みた『最初の哲学者』「万物の根源(アルケー)は水」と提唱

古代哲学(ギリシア哲学)の代表的人物



ピタゴラス ピタゴラスの定理でも有名な数学者・哲学者 「万物の根源(アルケー)は数」と提唱

古代哲学(ギリシア哲学)の代表的人物



ソクラテス プラトンやアリストテレスの師匠である哲学者 「無知の知」を提唱

中世哲学

5世紀から16世紀のルネサンスが起こるまでの哲学

別名教父哲学とも呼ばれ 「神(キリスト教)」を基盤とした世界観

神学 > 哲学 > 諸学問

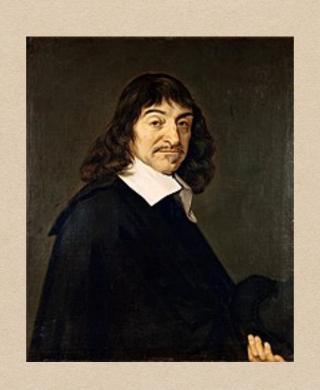
近代哲学

近世哲学とも呼ばれる16世紀から20世紀までの哲学

自我や理性という概念が登場主観と客観という認識論の時代

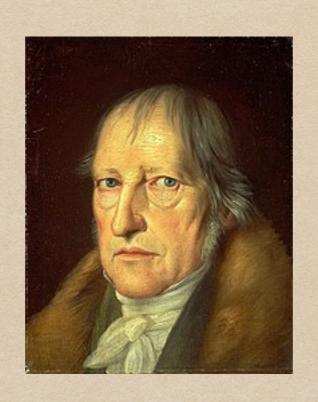
神から人間中心の世界へ

近代哲学の代表的人物



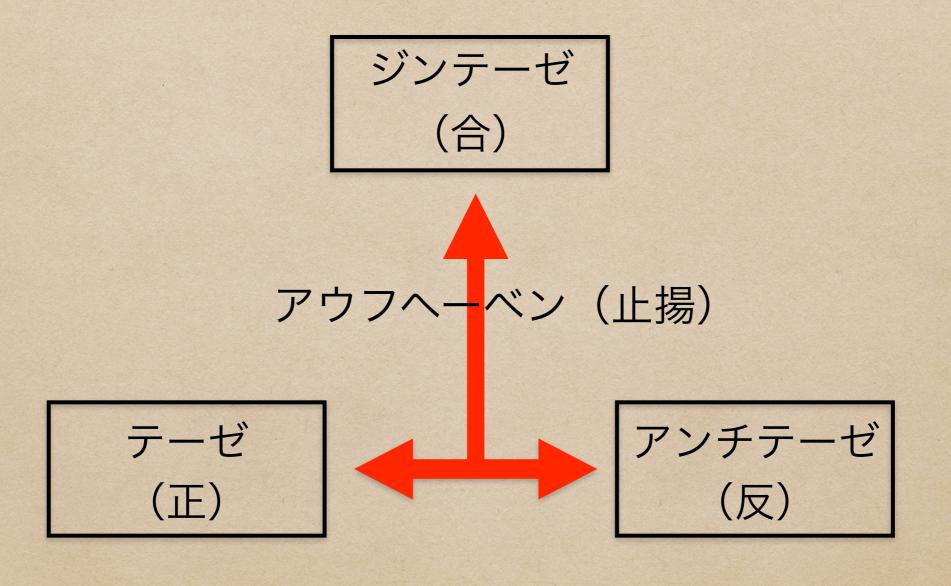
デカルト フランス生まれの数学者・哲学者 近代哲学の祖 「我思う故に我あり」を提唱

近代哲学の代表的人物



ヘーゲル ドイツの哲学者・思想家 近代哲学の総括者 「弁証法」を提唱

弁証法とは



弁証法とは

人間は否定や矛盾や痛みを乗り越えて 成長をしていく

近代哲学の代表的人物



キルケゴール デンマークの哲学者・思想家 実存主義哲学の父 「人生とは絶望である」と提唱

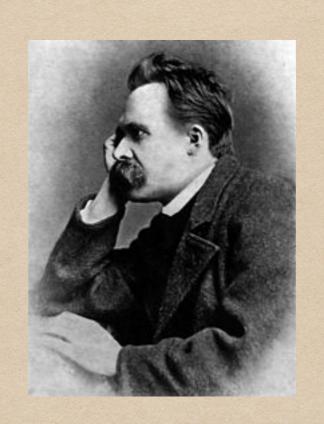
キルケゴールの実存主義とは

ヘーゲルの抽象的思考に対抗する具体的思考

「私にとっての真理とは?」の追求

現代の自己啓発・コーチング・カウンセリング セラピー・スピリチュアルの原点

近代哲学の代表的人物



ニーチェ ドイツの哲学者・思想家 実存主義哲学の代表的人物 「人間の本性はエゴイズムである」と提唱

遠近法 (パースペクティブ)

人は自分の欲望に応じて「事実」を決める 自分の欲望により近いモノを重要と判断する 私たちは見たい形に世界を捻じ曲げて認識している

つまり この世界に事実はない あるのは解釈だけ

自分の欲望が満たされやすいように解釈をする

その代表が

ルサンチマン (弱者の逆恨み)

「世の中〇〇じゃない」

とは言っているが ○ が満たされないから 逃げ道を作っているだけ

理想の人生を歩める人は 「力への意志」 人よりも優位にありたいという意志 欲望が引き起こす力を使って 逆境を乗り越える

常にルサンチマンになっていないか セルフチェックしてください

正直な人はルサンチマン 嘘をつかない方が楽

思慮深い人もルサンチマン 思慮に逃げて行動力を下げている

道徳心の強い人はルサンチマン 善人でありたいことを優先する

同情を求める人もする人もルサンチマン 同情は相手も自分も成長しない

感情は論理に先立つ

理想の人生を歩めない人は 論理的に見えても不満の感情を正当化してるだけ

「これが真実だ!」 は 自分はこう考えるとスッキリするから これを事実を選択する

と個人的に解釈しているだけ

つまりこの世界に「真理(固定点)」などない

まずは 「力への意志」を素直に見つめる

現実の苦しみを積極的に受け入れ 強い自分で在り続ける

どんな現実とも向き合い運命を愛する

逆恨みせず 現実を受け止め ねじ曲がらずに 真っ直ぐに生きていく

実存とは 否定・苦痛・絶望と向き合い 戦い続けること

現代哲学 (現代思想)

20世紀後半以降に現れた西洋哲学・思想

大きく分けると 英米圏の分析哲学と独仏圏の大陸哲学 に分けられる

ジュパンセでは分析哲学が中心

まとめ

構造の中で実存的に生きる 実存的に生きるから構造が変わる

ワーク1

実存的に生きるために 向いあう苦痛を言語化しましょう ワーク2

思考実験と言語化

思考実験とは…

科学的な原則に反しない条件に基づき 頭の中で思考して行う実験 思考実験

道徳ピル

脳科学によると、脳機能と犯罪の相関性が明らかになり、そこで道徳ピルという人間を善にする薬が開発されました。

犯罪者や犯罪を犯す可能性がある人に対して、その薬を処 方することは許されるか?

賛成か反対を表明して、道徳ピルが導入された世界を言語 化してください。